

## 2023 年度入学試験問題

## 選 択(日本史, 世界史, 政治・経済, 数学)

(60 分)

## 注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子は開かないでください。
2. この問題冊子は 40 ページあります。試験中、ページの脱落等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。  
解答用紙(マークシート)の汚れなどに気づいた場合も、同様に知らせてください。
3. 解答用紙(マークシート)は折り曲げたり、汚したりしないでください。
4. 数学を解答するものは、解答上の注意が裏表紙に記載してあるので、この問題冊子を裏返して必ず読んでください。ただし、問題冊子を開いてはいけません。
5. 解答は、すべて解答用紙(マークシート、数学とその他の科目は解答用紙が異なります)に記入し、解答用紙(マークシート)の枠外には、なにも書かないでください。
6. 下記の選択科目のうちから 1 科目を選択して解答してください。解答用紙にマークする際にも注意してください。(※数学とその他の科目は解答用紙が異なります)

選択科目	ページ	試験問題
日本史	1 ページ～12 ページ	問 1～問 40
世界史	13 ページ～25 ページ	問 1～問 40
政治・経済	26 ページ～37 ページ	問 1～問 40
数学	38 ページ～40 ページ	ア～ホ

7. マークは必ず HB の黒鉛筆を使用し、訂正する場合は、完全に消してからマークしてください。
8. 監督者の指示に従って、解答用紙(マークシート)に解答する科目、受験番号をマークするとともに、受験番号および氏名を記入してください。
9. 解答する科目、受験番号、解答が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。
10. 筆記用具以外は、使用しないでください。
11. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

# 日本史

(60分)

## 注意事項

1. 試験問題は、問1～問40まであります。

解答用紙(マークシート)には、問題番号が1～50、選択肢が①～⑩まで印刷されていますが、解答にあたっては、問1～問40までの各設問に指示された選択肢の数の中から選んで解答してください。

2. 解答する科目、受験番号、解答が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

## 問題 I

次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

平清盛が後白河法皇を幽閉し、1180年、清盛の孫である安徳天皇を位につけると、<sup>(1)</sup>( 3 )は平氏打倒の令旨を諸国に発した。源頼政は( 3 )を奉じて、諸国の源氏に先駆けて平氏打倒の兵を挙げたが、宇治の平等院で敗死した。しかし、その影響は大きく、令旨に応じて、伊豆に流されていた源頼朝が挙兵した。このとき一緒に挙兵したのが源頼朝の妻であった北条政子の父である( 5 )らである。また、信濃国では源頼朝のいとこである源義仲も挙兵するなど、各地の武士団が挙兵した。争乱は全国に広がり、5年にわたって戦いが続いた。

源頼朝は、石橋山の戦いに敗れて、<sup>(6)</sup>( 7 )に逃れたものの、その後、東国の武士が続々と馳せ参じ、相模国の鎌倉に入った。それに対して、平清盛は、源頼朝を討つために、平維盛を大将として大軍を派遣したが、平氏軍は富士川の戦いで敗走した。富士川の戦いのあと、源頼朝は侍所を設置し、源頼朝と主従の関係を結んだ御家人を統制し、こののち、公文所と問注所を設置し、公文所の初代別当に〔 A 〕を、問注所の初代執事に〔 B 〕<sup>(10)</sup>を、それぞれ任命した。

源頼朝は、常陸国の佐竹氏、甲斐国の武田氏などの源氏庶流を制圧するなどしながら、関東の荘園・公領を支配し、御家人の所領支配を保障していった。1183年、平氏の都落ちのあと、後白河法皇は源頼朝に対して、源義仲の討伐の見返りに寿永二年十月宣旨を出した。1184年、源頼朝は後白河法皇の要請を受け、源範頼、源義経らの軍勢を派遣し、源義仲を〔 C 〕<sup>(12)</sup>の戦いで討伐すると、ついで平氏と戦い、〔 D 〕の戦い、〔 E 〕の戦いを経て、1185年に〔 F 〕の戦いで平氏を滅亡させた。

源頼朝の勢力拡大を恐れた後白河法皇は、源義経に頼朝追討の院宣を発給したが、源義経の挙兵は失敗し、奥州の藤原秀衡のもとに落ち延びた。源頼朝は、源義経の追討を理由に、諸国に守護を、<sup>(13)</sup>荘園や公領には地頭を任命する権利や1段あたり5升の兵糧米を徴収する権利などを獲得した。1189年、源頼朝は自ら大軍を率いて奥州藤原氏を滅ぼし、<sup>(15)</sup>1192年、源頼朝は後鳥羽天皇より征夷大将軍に任命された。

問 1 文中の下線部(1)に関して、この人物に関連する事柄にあてはまる個数として最も適するものを選び、その番号をマークしなさい。

- ア. 平氏ではじめて日宋貿易を行った。
- イ. 武士ではじめて太政大臣となった。
- ウ. 蓮華王院を造営し、その本堂に千一体の千手観音像を安置した。
- エ. 摂津の大輪田泊を修築した。
- オ. 各地の武士団の一部を荘園や公領の現地支配者である地頭に任命した。

- ① 1個      ② 2個      ③ 3個      ④ 4個      ⑤ 5個

問 2 文中の下線部(2)が編んだ作品として、最も適する語句を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 『今昔物語集』      ② 『大鏡』      ③ 『今鏡』  
④ 『梁塵秘抄』      ⑤ 『陸奥話記』

問 3 文中の空欄( 3 )に最も適する人名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 宗尊親王      ② 以仁王      ③ 重仁親王  
④ 守貞親王      ⑤ 高望王

問 4 文中の下線部(4)に関して、次の史料は『玉葉』の一部である。この史料に関連して述べた下の文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして、最も適するものを選び、その番号をマークしなさい。

史料

伝へ聞く。謀叛の賊義朝の子、年来配所伊豆国に在り。而るに近日凶悪を事とし、去んぬる比新司の先使を凌<sup>りょうりやく</sup>礫<sup>およ</sup>す。〈時忠卿知行の国なり。〉凡そ伊豆・駿河両国押領し了<sup>おわ</sup>んぬ。又為義の息、一兩年来熊野辺に住む。而るに去んぬる五月乱逆<sup>らんげき きごみ</sup>の刻、坂東方に赴き了んぬ。彼の義朝の子に与力し、大略謀叛を企つるか。

(『玉葉』)

X この史料は、九条兼実の日記である。

Y この史料にある「去んぬる五月乱逆」とは、「南都焼打ち」のことを指している。

- ① X 正 Y 正      ② X 正 Y 誤  
③ X 誤 Y 正      ④ X 誤 Y 誤

問 5 文中の空欄( 5 )に最も適する人名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 北条時政                      ② 北条泰時                      ③ 北条時宗  
④ 北条義時                      ⑤ 北条高時

問 6 文中の下線部(6)に関して、この戦いには平氏方として参戦したが、源頼朝の危機を救い、服属後は頼朝の信任を得たが、平氏追討時に源義経と対立した人物として、最も適する人名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 安達盛長                      ② 千葉常胤                      ③ 大庭景親  
④ 梶原景時                      ⑤ 比企能員

問 7 文中の空欄( 7 )に最も適する語句を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 阿波国    ② 伊勢国    ③ 日向国    ④ 土佐国    ⑤ 安房国

問 8 文中の下線部(8)に関して、最も不適切なものを選び、その番号をマークしなさい。

- ① 平将門以来、平氏とのゆかりが深い地である。  
② 三方を小さな丘陵に囲まれ、南方は海をのぞむ要害の地である。  
③ 山稜部分は、人工的に切削され、平場や枡形・切岸などの防衛線が築かれた。  
④ 鎌倉幕府が滅亡するまでの間に、この地のなかで幕府所在地を複数回移転している。  
⑤ 鎌倉への出入りは7カ所ある「切通し」を通らなければならなかった。

問 9 文中の下線部(9)に関して、初代別当に任じられた人物として、最も適する人名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 足立遠元                      ② 八田知家                      ③ 三浦義澄  
④ 和田義盛                      ⑤ 結城朝光

問10 文中の下線部(10)に関して、空欄〔 A 〕・〔 B 〕に入る人物とその人物の出身の組み合わせとして、最も適するものを選び、その番号をマークしなさい。

- ① A 三善康信・武家              B 大江広元・公家  
② A 三善康信・公家              B 大江広元・武家  
③ A 大江広元・武家              B 三善康信・公家  
④ A 大江広元・公家              B 三善康信・公家  
⑤ A 大江広元・武家              B 三善康信・武家

問11 文中の下線部(11)に関して、最も適するものを選び、その番号をマークしなさい。

- ① 源頼朝に東海・東山両道の東国の支配権が認められ、見返りとして、源頼朝に東国の荘園・公領の年貢保障が命じられた。
- ② 承認された東国の支配権のなかには北陸道も含まれていた。
- ③ この宣旨は、平氏の都落ちのまえに出された。
- ④ 朝廷に議奏公卿が設置された。
- ⑤ 源頼朝が権大納言・右近衛大将に任じられた。

問12 文中の下線部(12)に関して、空欄〔 C 〕・〔 D 〕・〔 E 〕・〔 F 〕に入る語句の組合わせとして、最も適するものを選び、その番号をマークしなさい。

- ① C 倶利伽羅峠      D 粟津      E 一の谷      F 壇の浦
- ② C 倶利伽羅峠      D 一の谷      E 壇の浦      F 屋島
- ③ C 粟津      D 一の谷      E 屋島      F 壇の浦
- ④ C 粟津      D 屋島      E 一の谷      F 壇の浦
- ⑤ C 屋島      D 粟津      E 壇の浦      F 一の谷

問13 文中の下線部(13)によって創建された寺院として、最も適する語句を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 中尊寺                      ② 毛越寺                      ③ 無量寿院
- ④ 無量光院                      ⑤ 観自在王院

問14 文中の下線部(14)に関して、最も不適切なものを選び、その番号をマークしなさい。

- ① 原則として各国に一人ずつで、主に東国出身の有力御家人が任命された。
- ② その任務は、謀反人の逮捕、殺害人の逮捕のみであった。
- ③ 戦時には国内の御家人を統率した。
- ④ 在庁官人への命令権を行使し、特に東国では国衙の行政事務を引き継いで、地方行政官としての役割を果たした。
- ⑤ ごく初期の段階には、惣追捕使・国地頭などとも呼ばれた。

問15 文中の下線部(15)に関して、この一族と関係が深い人物として、最も不適切な人名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 藤原清衡                      ② 源義家                      ③ 藤原純友
- ④ 藤原泰衡                      ⑤ 藤原基衡

## 問題Ⅱ

次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

文明とは何か。福沢諭吉は『文明論之概略』のなかで以下のように定義している(岩波書店, 2010年, 57頁)。

その狭き字義に従えば, 人力を以て徒に人間の需用を増し, 衣食住の虚飾を多くするの意に解すべし。また, その広き字義に従えば, 衣食住の安楽のみならず, 智を研き徳を脩めて人間高尚の地位に昇るの意に解すべし。

福沢諭吉は, 精神発達という文明の広義の意味を重視し, 西洋諸国にその模範を求め一教育者として人びとへの啓蒙活動に力を注いだ。そして, 『文明論之概略』以外にも多くの書物を著した。『16—ア』は, 福沢諭吉が幕末期から明治初期において欧米諸国を見聞した様子や経験を窺い知ることができ, 個人の独立や国家の隆盛は学問によって成り立つと説いた『16—イ』と並んで, 当時の人びとに大きな影響を与えた。福沢諭吉と同様に, 西洋の近代思想を日本に紹介した人物はほかにもいる。例えば, 質的功利主義を主張し徹底して個人の自由を説いた『16—ウ』(自由論)や「天は自ら助くる者を助く」の文章で有名な『16—エ』(自助論)は中村正直によって日本語に翻訳されたもので, 知識人層を中心に多くの日本人に読まれた。こうした天賦人権の思想<sup>(17)</sup>はのちの自由民権運動の理論的支柱になっていった。また, 旧来の封建的な思想の払拭と西洋の近代思想の普及に貢献した啓蒙書として『明六雑誌』を挙げることができる。同書は, 上記の福沢諭吉や中村正直をはじめ(18), (19), 西村茂樹など明治期を代表する洋学者たちが集まって1873年に組織された明六社によって発刊されたものである。

<sup>(20)</sup> 西洋の近代的な学問は, 西洋諸国から招聘された学者から直接学んだり, 西洋諸国に留学したり, そしてこれらの経験をへてやがては日本人による専門的研究や教育が行われるようになり, 明治期の日本人に摂取され流布していった。おもな学問分野をみると, 経済学は, 産業革命<sup>(21)</sup>をどこの国よりも早く達成し自由放任や自由貿易を主張した『22—ア』から導入された。ついで明治20年代より, 自由主義に対して保護主義の立場に立つ『22—イ』の経済学が金井延などによる翻訳をとおして少しずつ注目されるようになった。この背景には, 日本が経済的に欧米諸国に比べて立ち遅れていたことや労働問題が発生したことなどが挙げられる。法律学では, 法学者のボアソナードを招聘して『22—ウ』法系の法律を模範としてさまざまな法典が起草され, 民法典論争<sup>(23)</sup>を契機として『22—エ』法系の影響が強くなった。建築学では, 政府から招聘されたイギリス人の(24)が日本において大きな貢献を果たした。鹿鳴館は(24)の日本における代表作であり, そのほかにもニコライ堂や三井倶楽部などが有名である。(24)は, 工部大学校や帝国大学で

西洋建築学を教え、辰野金吾や片山東熊などを育成した。辰野金吾の代表作に日本銀行本店や東京駅、片山東熊の代表作に赤坂離宮や奈良国立博物館などがある。文芸では、東京大学の招聘でアメリカから来日したフェノロサが日本の伝統的美術を高く評価してその復興に注力し、岡倉天心と協力して1887年の東京美術学校の設立にかかわった。

日本人による世界的な業績も多く現れた。自然科学の分野では、2024年に発行される千円紙幣の肖像画に選ばれている北里柴三郎はドイツに留学し、帰国後は数々の研究成果を上げ、日本の細菌学の基礎を築いた。物理学では、(28)が1903年に土星形原子模型を提唱するなど原子構造の研究に寄与した。薬学や化学では、高峰譲吉や鈴木梅太郎、秦佐八郎などが活躍した。人文・社会科学の分野では、『日本開化小史』を著した田口卯吉や、岩倉使節団に随行して『米欧回覧実記』を編纂した久米邦武などが歴史学において足跡を残した。

問16 文中の空欄 16—ア と 16—イ と 16—ウ と 16—エ に入る適切な著書として正しい組合わせを選び、その番号をマークしなさい。

- ① 学問のすゝめ — 西国立志編 — 自由之理 — 西洋事情
- ② 西国立志編 — 学問のすゝめ — 西洋事情 — 自由之理
- ③ 西洋事情 — 学問のすゝめ — 自由之理 — 西国立志編
- ④ 学問のすゝめ — 自由之理 — 西国立志編 — 西洋事情

問17 文中の下線部(17)に関して、最も適する説明を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 人間は生まれながらにして自由平等で、幸福を求める権利(自然権)があるという主張
- ② 万物にはすべて徳があるという考えのもと、徳をもって徳に報いること
- ③ 一切は「空」であるという思想のこと
- ④ 「最大多数の最大幸福」を目指す倫理のこと

問18 文中の空欄(18)について、国際法の翻訳書である『万国公法』の訳者として有名であり、また今日使われている哲学用語の多くを邦訳した人物として最も適する人名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 中江兆民
- ② 津田真道
- ③ 植木枝盛
- ④ 西周

問19 文中の空欄(19)について、最初に『国体新論』や『真政大意』を著して天賦人權論を唱えたものの、のちに『人權新説』をとおしてこれを否定した人物として最も適する人名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 馬場辰猪
- ② 神田孝平
- ③ 加藤弘之
- ④ 森有礼

問20 文中の下線部(20)について、この年に起こった出来事として最も不適切なものを選び、その番号をマークしなさい。

- ① 民撰議院設立建白書を左院に提出
- ② 内務省の設置
- ③ 徴兵令の公布
- ④ 第一国立銀行の設立

問21 文中の下線部(21)について、近代日本の産業革命の進展において最も不適切なものを選び、その番号をマークしなさい。

- ① 渋沢栄一などの尽力による大阪紡績会社開業
- ② 官営八幡製鉄所の操業開始
- ③ 豊田佐吉による国産力織機の考案
- ④ 問屋制家内工業の発達

問22 文中の空欄 [22—ア] と [22—イ] と [22—ウ] と [22—エ] に入る適切な国として正しい組合わせを選び、その番号をマークしなさい。

- ① イギリス — ドイツ — フランス — ドイツ
- ② イギリス — フランス — ロシア — イギリス
- ③ イギリス — アメリカ — フランス — ロシア
- ④ イギリス — ドイツ — アメリカ — フランス

問23 文中の下線部(23)について、この論争に最も関係のない内容を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 戸主権や家督相続制度など家父長制的な家制度が存続した。
- ② 皇室に対する大逆罪や不敬罪などが規定された。
- ③ 公布された新民法は 1947 年に改正された。
- ④ 穂積八東はボアソナードの民法を激しく批判した。

問24 文中の空欄( 24 )に最も適する人名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① ワーグマン      ② コンドル      ③ ミルン      ④ フルベッキ

問25 文中の下線部(25)について、この人物が調査した飛鳥文化の仏像として、最も適するものを選び、その番号をマークしなさい。

- ① 法隆寺夢殿救世観音像      ② 広隆寺半跏思惟像
- ③ 中宮寺半跏思惟像      ④ 法隆寺百済観音像

問26 文中の下線部(26)について、この年に起こった出来事として、最も適するものを選び、その番号をマークしなさい。

- ① 大日本帝国憲法の公布                      ② 秩父事件の発生  
③ 「教育に関する勅語」の発布              ④ 『国民之友』の創刊

問27 文中の下線部(27)について、北里柴三郎の研究業績として最も不適切なものを選び、その番号をマークしなさい。

- ① 赤痢菌を発見  
② 破傷風菌の純粹培養に成功  
③ 免疫体を発見し血清療法を確立  
④ ペスト菌を発見

問28 文中の空欄( 28 )に最も適する人名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 牧野富太郎    ② 木村 栄    ③ 大森房吉    ④ 長岡半太郎

問29 文中の下線部(29)について、この人物の説明として最も不適切なものを選び、その番号をマークしなさい。

- ① ギゾーのヨーロッパ文明史に影響を受けた。  
② 保護貿易を批判し自由貿易を唱えた。  
③ 『東京経済雑誌』を刊行し主筆となった。  
④ アメリカに留学しキリスト教に入信した。

問30 文中の下線部(30)について、女子留学生の一人として参加し、のちに女子英学塾を創設した人物で、2024年に発行される五千円紙幣の肖像画に選ばれている人物として最も適する人名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 山川捨松    ② 永井繁子    ③ 津田梅子    ④ 樋口一葉

### 問題Ⅲ

次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

明治新政府を樹立してから、日本は国民国家として諸外国との交流と均衡をたもつ努力をしなければならなかった。それは、対内的には政治的安定と近代国家としての諸制度を整備していく過程であり、対外的には諸外国との経済的・軍事的均衡をたもつ過程であった。国家としての独立をたもつために明治政府にとって重要な課題となっていた対外的な問題は、大きく二つに分けることができる。ひとつは、欧米列強との不平等条約の解消、もうひとつは東アジアにおける地位の確立である。東アジアにおける対外政策は、すなわち朝鮮、清国およびロシアとの関係を再構築していくことだが、日本はわずか四十数年しかなかった明治期に日清戦争と日露戦争という二つの大きな戦争を経験することになる。

とくに清国およびロシアとの関係は朝鮮半島における権益をめぐる展開され、朝鮮国内の情勢が影響した。1876年に日本が日朝修好条規によって朝鮮を開国させてから朝鮮国内では親日派勢力が台頭し、1882年には漢城(現、ソウル)で国王の外戚閔氏一族に反対する一派が壬午軍乱(壬午事変)をおこした。この反乱は失敗に終わり、閔氏一族の政権は清国に依存するようになる。これに対して、日本と結んで朝鮮の近代化をはかろうとしていた親日改革派(独立党)の(32)は、1884年に甲申政変(甲申事変)をおこし親清派政権を追放したが3日間で失敗し、日本へ亡命した。この事件で日清関係が悪化したため、両国は天津条約<sup>(33)</sup>を結び甲申政変の事後処理をおこなった。

天津条約締結前後、日本はさらに軍事力の増強<sup>(34)</sup>につとめた。日本政府が、清国の軍事力を背景に日本の経済進出に抵抗する朝鮮政府との対立を深めるなか、1894年に朝鮮南部では農民が蜂起した甲午農民戦争<sup>(35)</sup>がおこった。甲午農民戦争はやがて、朝鮮の支配権をめぐる日清両国の戦争へと発展する。日本にとっては国際情勢も有利にはたらし、日清戦争が日本の勝利に終わると、1895年、日本と清国のあいだには下関条約が締結された。しかし、東アジア進出をめざすロシアは下関条約で決められた日本への遼東半島割譲に対して異議をとなえ、(36)の両国を誘って半島返還を要求した。いわゆる三国干渉である。

日清戦争と三国干渉は、日本国内の政治状況に大きな変化をもたらした。日清戦争前の初期議会<sup>(37)</sup>における政府と民党の対立から、日清戦争期における政府と議会の対立解消、そして日清戦争後の政党の妥協と連携の時代へとうつり、1898年には日本初の政党内閣である大隈重信内閣(隈板内閣)が成立したのである。しかし、大隈内閣ははじめから旧自由党系と進歩党系の対立に悩まされ、(38)が共和演説事件で文部大臣を辞任すると、後任をめぐる憲政党は憲政党(旧自由党系)と憲政本党(旧進歩党系)に分裂した。結局、大隈内閣は4ヶ月の短命に終わり、憲政党(旧自由党系)と連携した第2次山県有朋内閣<sup>(39)</sup>が成立する。

山県有朋内閣における一連の諸政策に対して批判的になった憲政党は、連携を断絶し新  
政党結成をめざしていた伊藤博文に接近する。1900年には、憲政党を主導する星亨らと  
伊藤博文により( 40 )が結成されると伊藤は第4次内閣を組織するが、貴族院の反発に  
より退陣し、1901年には第1次桂太郎内閣が誕生した。長期政権であった桂太郎内閣の  
時代には、イギリスと同盟して韓国での権益をまもるため日英同盟協約を結んだが、日露  
の対立が激化し、1904年には日露戦争が勃発した。

問31 文中の下線部(31)に関して、最も不適切なものを選び、その番号をマークしなさい。

- ① 日本の公使館も襲われた。
- ② 日本に接近しようとしぬ国王高宗の外戚閔氏一族に反対する親日派軍隊の反乱であった。
- ③ 反乱軍は、国王の生父である大院君を支持した。
- ④ 清国の派兵によって鎮圧された。

問32 文中の空欄( 32 )に最も適する人名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 李鴻章            ② 閔 妃            ③ 李舜臣            ④ 金玉均

問33 文中の下線部(33)に関して、最も不適切なものを選び、その番号をマークしなさい。

- ① 日本からは全権として陸奥宗光が派遣された。
- ② 日清両国の朝鮮からの撤兵をきめた。
- ③ 日清両国軍事顧問の派遣中止をきめた。
- ④ 今後朝鮮に出兵する場合には、事前通告をおこなうことになった。

問34 文中の下線部(34)に関して、最も不適切なものを選び、その番号をマークしなさい。

- ① 日本は、これ以前の1878年にはすでに参謀本部を新設して統帥部を強化していた。
- ② 1882年に発布された軍人勅諭では、軍人の政治関与を許容し推進した。
- ③ 軍人勅諭では、「大元帥」である天皇への軍人の忠節が強調された。
- ④ 陸軍の編制を国内治安対策に主眼をおいたものから、対外戦争を目標にしたものへと充実させていった。

問35 文中の下線部(35)に関して、最も不適切なものを選び、その番号をマークしなさい。

- ① 東学とはキリスト教(西学)に反対する民族宗教である。
- ② 減税と排日を要求する農民の反乱である。
- ③ 清国だけではなく、日本とロシアも出兵した。
- ④ 農民軍は朝鮮政府と和解した。

問36 文中の空欄( 36 )に最も適するものを選び、その番号をマークしなさい。

- ① フランスとドイツ
- ② フランスとアメリカ
- ③ イギリスとドイツ
- ④ イギリスとフランス

問37 文中の下線部(37)に関して、以下の中からそれが起こった順序として正しいものを1つ選び、その番号をマークしなさい。

- A 松方正義内閣に大隈重信が外相として入閣し、進歩党は増税を支持した。
- B 自由党が伊藤博文内閣を支持して板垣退助を内相として入閣させ、軍備拡張予算を承認した。
- C 自由党と進歩党は合同して憲政党を結成した。
- D 伊藤博文内閣は挙国一致内閣をめざしたが、自由党との提携をあきらめて超然主義に戻った。

- ① A→B→C→D
- ② B→A→C→D
- ③ D→A→B→C
- ④ B→A→D→C

問38 文中の空欄( 38 )に最も適する人名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 黒田清隆
- ② 後藤新平
- ③ 尾崎行雄
- ④ 松方正義

問39 文中の下線部(39)に関して、以下の中から第2次山県有朋内閣がおこなっていないものを1つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 地租増徴案の成立
- ② 文官任用令の改正
- ③ 軍部大臣現役武官制の施行
- ④ 治安維持法の公布

問40 文中の空欄( 40 )に最も適する政党名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 立憲政友会
- ② 立憲自由党
- ③ 立憲同志会
- ④ 立憲国民党